

平成21年6月期 第1四半期決算短信

平成20年11月10日

上場会社名 株式会社 テー・オー・ダブリュー
 コード番号 4767 URL <http://www.tow.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 治
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 木村 元
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

上場取引所 東

TEL 03-3502-8887

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年6月期第1四半期の連結業績(平成20年7月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年6月期第1四半期	2,881	—	225	—	225	—	31	—
20年6月期第1四半期	2,605	13.9	141	△33.4	137	△31.7	55	△43.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年6月期第1四半期	2.68	—
20年6月期第1四半期	4.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
21年6月期第1四半期	7,749	—	4,578	—	59.1	—	394.31	
20年6月期	8,391	—	4,704	—	56.1	—	405.17	

(参考) 自己資本 21年6月期第1四半期 4,578百万円 20年6月期 4,704百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年6月期	—	12.00	—	12.00	24.00
21年6月期	—	—	—	—	—
21年6月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年6月期の連結業績予想(平成20年7月1日～平成21年6月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	7,290	△6.5	694	△7.5	683	△7.9	290	△29.6	25.01
通期	15,230	5.8	1,510	10.9	1,490	11.0	881	20.7	75.87

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年6月期第1四半期 12,242,274株 20年6月期 12,242,274株
 ② 期末自己株式数 21年6月期第1四半期 630,371株 20年6月期 630,341株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年6月期第1四半期 11,611,916株 20年6月期第1四半期 11,612,278株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的である判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提となる条件につきましては、3ページ 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

2. 当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、米国のサブプライム問題に端を発した内外金融資本市場の混乱、原油価格高騰による原材料価格高騰に伴う企業収益の減少・新興国経済減速による輸出が鈍化する等、景気は後退局面に入りました。

当社グループの属する広告業界におきましては、大手広告代理店の売上高が、4媒体（新聞・雑誌・ラジオ・テレビ）を中心に対前年比で減少傾向にあるなど、やや低調に推移いたしました。

一方、イベント業界におきましては、引き続き顧客（広告主）の4媒体に対する広告効果やコストの見直し、並びにニーズが変化し、プロモーション領域への期待が高まってきたこともあり、比較的好調に推移いたしました。

このような事業環境の中、当第1四半期の売上高は28億81百万円、営業利益は2億25百万円、経常利益は2億25百万円と、前年を上回る結果となりましたが、四半期純利益は、過年度法人税等の発生により31百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億41百万円減少し、77億49百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ5億84百万円減少の68億12百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が6億1百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ56百万円減少の9億37百万円となりました。

固定資産のうち有形固定資産は、前連結会計年度末に比べ4百万円減少の70百万円となりました。これは主に、有形固定資産の減価償却によるものであります。

無形固定資産は、前連結会計年度末に比べ1百万円減少の20百万円となりました。これは主に、ソフトウェアの減価償却によるものであります。

投資その他の資産は、前連結会計年度末に比べ50百万円減少の8億46百万円となりました。これは主に、投資有価証券が30百万円、保険積立金が34百万円減少したこと等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ5億16百万円減少の29億38百万円となりました。これは主に、買掛金が3億32百万円、未払法人税等が1億66百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1百万円増加の2億32百万円となりました。これは主に、退職給付引当金が1百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億26百万円減少の45億78百万円となりました。これは主に、利益剰余金が減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比べて10百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末は、15億89百万円となりました。当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1億12百万円となりました。これは主に、法人税等の支払額が3億19百万円、仕入債務の減少額が3億32百万円ありましたが、税金等調整前四半期純利益が2億25百万円、売上債権の減少額が6億1百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は37百万円となりました。これは主に、その他の支出が13百万円ありましたが、その他の収入が51百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1億39百万円となりました。これは主に、配当金の支払額が1億39百万円あったこと等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

前述のとおり、当第1四半期は売上高、営業利益、経常利益は、対前年を上回る結果となりましたが、四半期純利益につきましては、過年度法人税等の発生により、対前年を下回る結果となりました。

第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高、営業利益、経常利益ともに当初の予想（平成20年8月7日公表数値）どおりの数値を見込んでおりますが、当期純利益につきましては、過年度法人税等の発生により、当初の予想を92百万円下回る見通しに変更しております。

通期の連結業績につきましても、同様に当期純利益のみ92百万円下回る見通しに変更しております。

配当方針につきましては、従来より将来の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としておりますが、来期(平成22年6月期)より利益配分の指標として、連結ベースの配当性向および株価配当利回りを基本といたします。

具体的には、来期(平成22年6月期)の連結業績予想の当期純利益に対して、配当性向40%で算出された一株当たりの予想配当金と、本決算発表日(平成21年8月6日)の前日の終値に株価配当利回り4.5%を乗じて算出された一株当たりの配当金のいずれか高い方を最低配当金として配当金を決定することとし、来期以降も同様といたしたいと存じます。

なお、連結配当性向40%は下限目標といたしますが、株価配当利回りにつきましては、市場金利等の動向を勘案して決定いたします。

また、内部留保の確保という従来からの基本方針に基づき、株価の急騰局面においては、連結配当性向換算で100%を上限として配当額を決定したいと存じます。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,589,203	1,579,121
受取手形及び売掛金	2,125,413	2,726,823
未成業務支出金	368,783	229,690
未収入金	2,631,346	2,714,643
前払費用	23,751	22,036
繰延税金資産	45,977	85,262
その他	27,879	39,746
流動資産合計	6,812,354	7,397,323
固定資産		
有形固定資産	70,331	75,090
無形固定資産	20,337	21,538
投資その他の資産		
投資有価証券	196,557	227,106
保険積立金	310,386	345,068
繰延税金資産	147,467	133,020
再評価に係る繰延税金資産	18,972	18,972
敷金及び保証金	164,524	164,524
その他	8,469	8,492
投資その他の資産合計	846,376	897,183
固定資産合計	937,045	993,813
資産合計	7,749,400	8,391,137
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,553,695	1,886,083
短期借入金	840,000	840,000
未払法人税等	150,523	316,857
賞与引当金	73,344	—
役員賞与引当金	6,936	—
その他	314,013	412,369
流動負債合計	2,938,514	3,455,309
固定負債		
退職給付引当金	107,948	106,591
役員退職慰労引当金	124,235	124,395
固定負債合計	232,184	230,986
負債合計	3,170,698	3,686,296

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	948,994	948,994
資本剰余金	1,027,376	1,027,376
利益剰余金	3,066,697	3,174,908
自己株式	△415,788	△415,773
株主資本合計	4,627,280	4,735,506
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△20,936	△3,023
土地再評価差額金	△27,642	△27,642
評価・換算差額等合計	△48,578	△30,666
純資産合計	4,578,701	4,704,840
負債純資産合計	7,749,400	8,391,137

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自平成20年7月1日
至平成20年9月30日)

売上高	2,881,523
売上原価	2,453,050
売上総利益	428,473
販売費及び一般管理費	202,953
営業利益	225,520
営業外収益	
受取利息	5
受取配当金	1
保険返戻金	6,613
雑収入	1,040
営業外収益合計	7,660
営業外費用	
支払利息	2,938
保険解約損	2,691
雑損失	1,985
営業外費用合計	7,615
経常利益	225,564
税金等調整前四半期純利益	225,564
法人税、住民税及び事業税	65,301
過年度法人税等	92,000
法人税等調整額	37,132
法人税等合計	194,433
四半期純利益	31,131

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年7月1日
 至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	225,564
減価償却費	8,305
出資金運用損益(△は益)	141
保険返戻金	△6,613
保険解約損益(△は益)	2,672
賞与引当金の増減額(△は減少)	73,344
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	6,936
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,357
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△160
受取利息及び受取配当金	△6
支払利息	2,938
売上債権の増減額(△は増加)	601,409
未収入金の増減額(△は増加)	83,297
たな卸資産の増減額(△は増加)	△139,093
その他の流動資産の増減額(△は増加)	10,026
仕入債務の増減額(△は減少)	△332,387
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△106,376
小計	431,358
利息及び配当金の受取額	6
法人税等の支払額	△319,228
営業活動によるキャッシュ・フロー	112,136
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△805
無形固定資産の取得による支出	△650
出資金の分配による収入	200
従業員に対する貸付金の回収による収入	125
その他の支出	△13,223
その他の収入	51,846
投資活動によるキャッシュ・フロー	37,492
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△15
配当金の支払額	△139,531
財務活動によるキャッシュ・フロー	△139,546
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	10,082
現金及び現金同等物の期首残高	1,579,121
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,589,203

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）

当社連結グループは同一セグメントに属するイベントの「企画」・「制作」・「運営」・「演出」及びそれに付帯する業務を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年6月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	2,605,534
II 売上原価	2,274,815
売上総利益	330,718
III 販売費及び一般管理費	189,338
営業利益	141,380
IV 営業外収益	1,011
V 営業外費用	4,716
経常利益	137,675
税金等調整前四半期純利益	137,675
法人税等	81,800
四半期純利益	55,875

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年6月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	137,675
減価償却費	8,164
出資損	1,405
役員賞与引当金の増加額	5,118
退職給付引当金の増加額	3,544
役員退職慰労引当金の増加額	2,552
受取利息及び受取配当金	△10
支払利息	2,652
売上債権の減少額	1,078,988
未収入金の増加額	△437,889
たな卸資産の増加額	△146,984
その他流動資産の増加額	△22,253
仕入債務の減少額	△645,399
その他流動負債の減少額	△47,950
その他	114
小計	△60,269
利息及び配当金の受取額	10
法人税等の支払額	△264,756
営業活動によるキャッシュ・フロー	△325,015

	前年同四半期 (平成20年6月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△3,600
投資事業組合からの分配による収入	5,098
従業員貸付けによる支出	△600
従業員貸付金の回収による収入	400
その他投資の実行による支出	△11,565
その他投資の回収による収入	859
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,406
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	200,000
自己株式の取得による支出	△32
配当金の支払額	△93,227
財務活動によるキャッシュ・フロー	106,740
IV 現金及び現金同等物の減少額	△227,681
V 現金及び現金同等物の期首残高	925,942
VI 現金及び現金同等物の期末残高	698,260

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成19年7月1日 至平成19年9月30日）

当社連結グループは同一セグメントに属するイベントの「企画」・「制作」・「運営」・「演出」及びそれに付帯する業務を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

b. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成19年7月1日 至平成19年9月30日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自平成19年7月1日 至平成19年9月30日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

6. その他の情報

販売の状況

カテゴリ別売上高

カテゴリ	当第1四半期連結累計会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
	金額(千円)	構成比 (%)
制作売上高		
販促	1,600,304	55.5
広報	890,036	30.9
博展	48,165	1.7
制作物	246,999	8.6
文化/スポーツ	67,644	2.3
小計	2,853,150	99.0
企画売上高	28,373	1.0
合計	2,881,523	100.0